

鍋谷 暁

希望

高校の魅力化推進

質 能代山本地区は地区外への中学卒業生の流出が多く、市内の高校の定員割れが深刻であるが、高校の魅力化を推進するために地域との協議の場を設ける考えは。

答 高校の魅力化の推進は、これからの社会を見据えた人材の育成につながるだけでなく、市内高校の生徒数の増加、地域の活性化、さらには人口減少対策としても重要な役割を果たすと考えていることから、市内高校や関係機関の皆様の御意見を伺いながら、地域と連携した協議の場の設置について検討していく。

地域みらい留学への参画

質 市内の高校の存続には地区外からの入学者増が重要。地方の魅力ある学校への進学を希望する中学生と全国から生徒を募集する公立高校との出会いが生み出す地域みらい留学に参画する考えは。

答 本市でも参画の可能性について検討を始めているが、留学先を選ばれるためには、他地域と差別化を図る必要性があり、生徒の受入れに当たっても様々な課題があると認識している。市では、第3期のしろ創生総合戦略において、教育による人づくり、つながりづくりに取り組むことから、課題を整理し、地域みらい留学への参画を目指したいと考えている。

その他の質問事項

- ヤングケアラー支援等
- 移住定住者向け市職員採用の情報発信
- ローカルスタートアップの推進

渡邊 正人

青松・公明党

鈴木健太県政と連携を強化する考えは

質 新知事は、人口減少対策や西高跡地に整備する再生可能エネルギー工業団地整備事業等の再生可能エネルギー関連事業、企業誘致などの産業振興の推進を強化するとしているが、市の取組は。

答 知事が掲げた「実効性のある人口減少対策の推進」や「持続可能性を基盤とした稼ぐ力の向上」等の重点事項については、市の重要課題である人口減少対策、産業振興策等と共通していることから、今後も県との協議を重ねながら、連携を強化したいと考えている。

学校外で児童生徒の命を守る行動は

質 防災教育の充実には児童生徒が災害時に家族や近所の住民の命を守ることもつながる。児童生徒が外出時や休日などの在宅時の対応を家族と話し合う機会やきっかけをつくる考えは。

答 市教育委員会では、防災リーフレットを各校に配付し、家族と防災について話し合うよう指導している。各校では、日常的に防災について考える場を設け、授業の中で、家族とハザードマップを確認する活動を取り入れた実践も行われている。今後、学校的全教育活動を通じて、児童生徒が家族と一緒に防災意識を高められるよう、働きかけていく。

その他の質問事項

- 今後増加する外国人への災害時の支援は
- 市内の風力発電施設の点検状況は
- 風車ブレード落下事故の市内への影響は

畠 貞一郎

市民ネットワーク
(市民の声、大河の会、能代民政会)

秋田市の陸上風力ブレード破損事故

質 エネルコン社製のE82の破損事故は、過去にも平成22年から30年にかけて4件あり、全て損傷要因は落雷となっている。製造品に問題があるのではないか。リコールに当たらないのか。

答 事故検証のために設置された第三者委員会に風車メーカーのEnercon社も参加し、事故原因の究明に努めていくと伺っている。原因究明が進み、その検証結果に応じて、国において必要な措置が講じられると考えている。

北高跡地利活用

質 能代のまちづくりを考えるにおいて、北高跡地の利活用は重要であるにもかかわらず、いまだ方針が定まっていない。市はどのように考えているのか。

答 これまでの検討を踏まえ、施設を整備する場合には、子育て支援や市民交流、コンベンション機能等を核とした複合施設とし、既存施設の統廃合・再編等も視野に入れた検討が必要と整理している。一方で、厳しい財政状況等を踏まえ、当面は現状のまま市民の活動の場や中心市街地の多目的に活用できる空間としての活用を継続したいと考えている。

その他の質問事項

- 三菱商事洋上風力株式会社の動向
- 県漁業協同組合の協力金
- 市内3病院と医療連携